

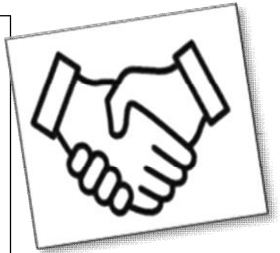
「人がかがやき、米と文化が実る町」～蘭越町の農業科～

コミュニティ・スクールだより

＝第7号＝
蘭越町教育委員会
蘭越町民センター内
生涯学習課生涯学習係
担当：徳光、工藤
TEL：0136-57-5030

11月18日（火）、蘭越小3年生が一灯園を訪問しました。コロナの影響で数年間途絶えていましたが、昨年は小規模での交流、そして今年は本来の形での交流となりました。

事前にどんな交流が可能かなどを考え、時間をかけ一緒に楽しめるプログラムなどを準備しました。挨拶から始め、リコーダー演奏、歌、ゲームなどで楽しみました。始めはお互い緊張感？もあったと思いますが、時間が経つにつれリラックスした雰囲気の中、あっという間に時間が過ぎていきました。27名の子どもたちにとっては、普段、高齢の施設利用者様と触れ合う機会がないだけに、心に残る時間になったに違いありません。子どもたちのいい笑顔と利用者様の温かみを感じる言葉や表情が、印象に残る貴重な時間となりました。



風船ゲームでも楽しんでくれました



質問タイムに応えてくれました



手をつないで和気あいあいと

「生涯学習講演会：講師・廣瀬隆人」を行いました(報告①)

11月20日（木）、町民センターにおいて「生涯学習講演会」が行われました。講師は北海道出身で、現在とちぎ市民協働研究会を主宰する廣瀬隆人氏です。「学校を核とした地域づくり・地域とともにある学校づくり」と題し、豊かな経験に基づき、お話しいただきました。現在コミュニティ・スクールのアドバイザーとして幅広く活躍していますが、講演の中では、限られた時間の中で、コミュニティ・スクールに関する考え方や実際に取り組んでいる事例など、資料を活用し様々な視点から話してくれました。その中から、特に印象に残った内容の一部を紹介します。

- 「学校を核とした地域づくり」とは・・・更には「学校を核とした地域づくり」とは、
- 学校運営協議会は何のためにやるか；手段と目的をはきちがえてはならない。
- 学校では、児童会・生徒会活動、学校行事を通し、地域づくりの基礎力を形成している。
- 先生たちは何を悩んでいるのか。
- 学校運営協議会に関する誤解と学校の思い込み
- 地域の人のつながりを強くすることによって、学校経営が円滑に展開できるようになる。

●基本的な考え方

学校運営協議会は、学校を媒介として、地域の人々のつながりを強めて、子どもと地域をどうしたら良いのかを学校と一緒に考える習慣をつくることだ。

資料の閲覧を希望する方は町民センター徳光まで

蘭越町の「地域学校協働活動」テーマ

- ◆テーマ「人がかがやき、米と文化が実る町」
- ◆サブテーマ「蘭越の農業科」

2学期の学校も残り半月ほど。学習のまとめの時期になりました。